

小さい子どもの心には、防犯指導が人を疑うという気持ちを根付かせ、地域の人たちとあまり会話しないという状況にもなりかねないので、安全対策にもこのような問題を考慮したバランス感覚が重要である。

地域の中で、大人と子どもがお互いに顔を知り合う関係づくりが大切である。

ネットワーク参加者すべてが同じ情報を共有するネットワークを構築すべきである。

<京都市子ども安全会議の構成>

中嶋晴彦 子ども安全統括官（座長），森田正和 体育健康教育室長（座長代理）

中村通子 子ども安全課長（副座長）

P T A連絡協議会（5名），校・園長会（5名），人づくり21世紀委員会（1名），地域生徒指導連合会（1名），学校保健会（1名），教育委員会（9名） 全25名

保護者・地域のボランティアによる安全活動事例

「子どもの安全確保 学校・園防犯実践事例集」の作成・配布（平成16年3月）以後、新たに開始された保護者や地域の活動事例を紹介します。防犯実践事例集の活用と併せ、これらの活動事例も参考に、子どもの安全を守るための地域ぐるみの取組を、今後、一層推進してください。

また、新たな取組がありましたら、当事務局（体育健康教育室学校安全担当）までお知らせください。

陶化小学校

P T Aから全児童に防犯ブザーとステッカーを配付。ステッカーは、ランドセル等のよく見える場所に貼る。



洛央小学校「学校安全ボランティア」

保護者・地域の方が、学校の玄関ホールに詰め、来校者の受付を行う。（不審者が現れれば、職員室に通報する。）午前10時～午後1時 午後1時～午後4時の時間帯に各3～4名が常駐。

砂川小学校

保護者・地域の方が、正門の敷地内で、児童や来校者への声かけを行う。（不審者が現れれば、職員室に通報する。）午前9時～午後3時に3名程が常駐。

梅津北小学校

保護者・地域の方が、正門の敷地内で、児童や来校者への声かけや正門・裏門のパトロール等を行う。（不審者が現れれば、職員室に通報する。）平成16年4月下旬からの本格実施を目指す。

嵐山小学校「安全パトロール」

保護者・地域の方が、登下校時間帯に、学区パトロール、自宅前や交差点等での立ち番、通学児童への同行、声かけなどを行なう。地域全体に募集し、現在、50名が活動。

桂徳小学校「スクールヘルパー」

老人クラブが、スクールヘルパー実行委員会を組織し、ボランティアを募集・登録し、校門警備と学校内外のパトロール等を行なう。実行委員会が、ジャンパー、帽子、たすき、腕章を貸与。